

平成29年度病虫害発生予察予報第1号（4月）

平成29年4月5日

高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
促成キュウリ	べと病 うどんこ病 つる枯病 タバココナジラミ 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ	平年並(県下全域) <u>やや多(県下全域)</u> <u>多(中西)</u> 、やや少(西)、少(中央) <u>やや多(西)</u> 、平年並(中央)、やや少(中西) <u>やや多(中央、西)</u> 、やや少(中西) <u>多(中西)</u> 、 <u>やや多(中央、西)</u>
促成ナス	うどんこ病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	<u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(東)</u> 、やや少(西) <u>多(中央、西)</u> 、 <u>やや多(東)</u> やや少(西)、少(東、中央) 平年並(東)、やや少(中央)、少(西)
促成ピーマン ・シシトウ	うどんこ病 斑点病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	<u>やや多(県下全域)</u> <u>多(中央、中西)</u> 、平年並(東) <u>やや多(東)</u> 、平年並(中央、中西) <u>やや多(東、中央)</u> 、平年並(中西) <u>多(中西)</u> 、やや少(東、中央)
促成トマト	葉かび病 すすかび病 うどんこ病 黄化葉巻病 タバココナジラミ	<u>やや多(中央)</u> <u>やや多(中央)</u> <u>多(中央)</u> 少(中央) やや少(中央)

※ （ ）内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台 3 月 30 日 発表）

＜予想される向こう 1 か月の天候＞ 4 月 1 日から 4 月 30 日

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 ヶ月の平均気温は平年並または低い確率ともに 40％です。降水量は少ない確率 50％です。日照時間は多い確率 50％です。

週別の気温は、1 週目は平年並の確率 50％です。2 週目は平年並または低い確率ともに 40％です。

＜向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1 ヶ月	四国地方	気温	40	40	20
		降水量	50	30	20
		日照時間	20	30	50

＜気温経過の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1 週目	四国地方	30	50	20
2 週目		40	40	20
3～4 週目		30	40	30

＜予報の対象期間＞

1 ヶ月：4 月 1 日（土）～ 4 月 30 日（金）

1 週目：4 月 1 日（土）～ 4 月 7 日（金）

2 週目：4 月 8 日（土）～ 4 月 14 日（金）

3～4 週目：4 月 15 日（土）～ 4 月 28 日（金）

II 主な病害虫の発生予想

1 促成キュウリの病害虫

1) ベと病

予 想 発生量：平年並（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年並、発病程度が高い地域も見られなかった。

(2) 4 月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生量：やや多（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。先月に比べ県中央部、中西部では発生面積は増加、西部は病勢の進展が見られたが、いずれの地域も発生面積、発病程度とも平年以下であった。

(2) 気温の上昇に伴い病勢の進展が早まるため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。ガッテン乳剤、プロパティフロアブルを使用した場合、菌叢の褐変、消失は見られないので防除効果は上位葉への進展など、未発生葉への進展状況で判断する。

3) つる枯病

予 想 発生量：多（中西部）、やや少（西部）、少（中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中西部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かったが、中央部、西部の発生面積は少なく、発病程度も低かった。

(2) 4月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや多（西部）、平年並（中央部）、やや少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年以下であり発生程度が高いほ場も見られなかった。

(2) 気温の上昇に伴い増殖が盛んになるため、既発ほ場を中心に発生が多くなると考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

5) 黄化えそ病

予 想 発生量：やや多（中央部、西部）、やや少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年以下であったが、先月に比べ発病程度は上昇した。

(2) 気温の上昇に伴い、本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマの増殖が盛んになることから、発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を低密度時に徹底する。また、罹病株は早期に除去し、埋設するなどの処分を行う。

6) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：多（中西部）、やや多（中央部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られた。県中西部では平年に比べ発生面積が多かったが、発生程度は低かった。中央部、西部は発生面積は平年並であったが、発生程

度は高かった。

(2) 気温の上昇に伴い増殖が盛んになるため、発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

2 促成ナスの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：多（中央部）、やや多（東部）、やや少（西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かったが、東部は発生面積、発病程度ともに平年並、西部での発生はごくわずかであった。

(2) 気温の上昇に伴い病勢の進展が早まるため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 黒枯病

予 想 発生量：多（中央部、西部）、やや多（東部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部、西部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かったが、東部は発生面積、発病程度とも平年並であった。

(2) 4月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや少（西部）、少（東部、中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では県西部でのみ発生が見られたが、平年に比べ発生面積は少なく、発病程度も低かった。

(2) 気温の上昇に伴い、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（東部）、やや少（中央部）、少（西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県東部、中央部で発生が見られたが、平年に比べ発生面積は少なく、

発生程度も低かった。

(2) 気温の上昇にともない、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：やや多（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積、発病程度とも平年並であった。

(2) 気温の上昇に伴い病勢の進展が早まるため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 斑点病

予 想 発生量：多（中央部、中西部）、平年並（東部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部、中西部は平年に比べ発生面積が多く、中央部は発病程度も高めであった。東部は発生面積、発病程度とも平年並であった。

(2) 4月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：やや多（東部）、平年並（中央部、中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部では平年に比べ発生面積がやや多めであったが、発病程度は平年並であった。中央部、中西部では発生面積は平年並であったが、発病程度は高かった。

(2) 4月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや多（東部、中央部）、平年並（中西部）

根 拠

(1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積、発生程度とも平年以下であった。

(2)気温の上昇に伴い増殖が盛んになるため、発生が増加すると考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：多（中西部）、やや少（東部、中央部）

根 拠

(1)巡回調査では県下全域で見られた。県中西部は平年に比べ発生面積が多く、発生程度も高かったが、東部、中央部は発生面積も少なく、発生程度も低かった。

(2)気温の上昇に伴い増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

(1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

4 促成トマトの病害虫

1) 葉かび病

予 想 発生量：やや多(中央部)

根 拠

(1)巡回調査では平年に比べ発生面積がやや多め、発病程度も高かったが下葉中心の発生で被害は見られなかった。

(2)4月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

2) すすかび病

予 想 発生量：やや多(中央部)

根 拠

(1)巡回調査では平年に比べ発生面積がやや多め、発病程度も高かったが下葉中心の発生で被害は見られなかった。

(2)4月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) うどんこ病

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

(1)巡回調査では平年に比べ、発生面積は多かったが、発病程度は平年並であった。

(2) 気温の上昇に伴い病勢の進展が早まるため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) 黄化葉巻病

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

(1) 巡回調査では平年に比べ発生面積は少なく、発生程度も低かった。新たな発生も見られなかった。

(2) 気温の上昇に伴い本病の媒介虫であるタバココナジラミの増殖が盛んになるが、この時期、野外から保毒虫の侵入はないため、新たなほ場での発生は無いと考えられる。

対 策

(1) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。また、罹病株はほ場外に持ち出し、埋設するなどして処分する。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや少(中央部)

根 拠

(1) 巡回調査では平年に比べ発生面積は少なく、発生程度も低かった。

(2) 気温の上昇に伴い増殖が盛んになるため、発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。また、本虫は黄化葉巻病を媒介するので注意する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ (こうち農業ネット)

- ① 病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ② 病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③ 病虫害発生予察技術資料
- ④ 新しく問題となっている病虫害 etc.